

# 平成23年度病害虫発生予報第8号

平成23年11月1日  
愛 知 県

## 1 果樹

ナシ、カキでフジコナカイガラムシの発生が多いほ場があります。発生が多いほ場では、粗皮削りを行った後にマシン油乳剤を丁寧に散布して防除しましょう。

## 2 野菜

ナスでは、ミナミキイロアザミウマの発生量が多くなっています。天敵や訪花昆虫を使用しているほ場では、農薬影響日数に注意し、防除を行いましょ。また、うどんこ病の発生量がやや多くなっています。ほ場での発生に注意し、発生初期に防除するようにしましょ。

ハクサイでは、軟腐病の発生量は現在のところやや少ない状況ですが、気温が高く、降雨が多くなると発生量が増加します。特に長雨や強風を伴う降雨が予想される場合には防除を徹底しましょ。

キャベツでは、11月中旬以降、気温の低下に伴い菌核病の発生が懸念されます。発病後の農薬散布では防除効果が低いので、予防的に防除を実施しましょ。特に、昨年発生が多かったほ場では注意が必要です。

トマトでは、黄化葉巻病の発生量は平年並の状況です。施設の開口部に防虫ネット（目合0.4mm以下）を張り、病原ウイルスを媒介するタバココナジラミの侵入を防止しましょ。ほ場での蔓延を防止するため、発病株は抜き取って適切に処分するとともに、タバココナジラミの防除を徹底しましょ。

キュウリでは、べと病の発生量がやや多くなっています。換気を十分に行い、余分なかん水を避けるなど湿度を必要以上に上げないようにするとともに、肥料切れを起こさないようにし、早めに防除しましょ。ミナミキイロアザミウマの発生量は現在のところ平年並ですが、気温の高い状態が続いた場合、発生量が増加するおそれがあります。ほ場での発生状況に注意しましょ。

イチゴでは、ハダニ類の発生量は平年並の状況ですが、気温の高い状態が続くと発生量が増加するおそれがあります。発生初期に的確に防除しましょ。天敵を導入する施設で発生が多い場合は、天敵を導入する前に密度を低くしておきましょ。

キャベツほ場に設置したフェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺数が10月中旬からやや多くなっています。今後、ほ場での発生状況に注意しましょ。

## 果樹

### ・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ウンシュウミカン	ミカンハダニ	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±

## 野菜

### ・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ハクサイ	軟腐病	平年並	全域	10月下旬の発生量はやや少ない 11月の降水量はやや多い	- +
	べと病	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い 11月の降水量はやや多い	+ +
	アブラムシ類	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い	+
	コナガ	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並 フェロモントラップにおける誘殺数は少ない 11月の気温は高い	± - +
キャベツ	黒腐病	やや多い	全域	10月下旬の発生量は平年並 11月の降水量はやや多い	± +
	菌核病	やや少ない	全域	10月下旬の発生量はやや少ない 昨年の発生量はやや少ない 11月の降水量はやや多い	- - +
	コナガ	やや少ない	全域	10月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘殺数は少ない 11月の気温は高い	- - +
ネギ	さび病	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	ネギアザミウマ	多い	全域	10月下旬の発生量は多い	+
トマト (施設)	葉かび病	やや少ない	全域	10月下旬の発生量はやや少ない	-
	黄化葉巻病	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	コナジラミ類	平年並	全域	黄色粘着トラップにおける誘殺数は平年並	±
	ハモグリバエ類	やや少ない	全域	10月下旬の発生量はやや少ない	-

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ナス (施設)	うどんこ病	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い	+
	ミナミキイロ アザミウマ	多い	全域	10月下旬の発生量が多い	+
キュウリ (施設)	うどんこ病	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	べと病	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや多い 11月の降水量はやや多い	+
	ミナミキイロ アザミウマ	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
イチゴ (施設)	うどんこ病	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
	ハダニ類	平年並	全域	10月下旬の発生量は平年並	±
野菜共通	ハスモンヨトウ	平年並	全域	10月下旬の発生量は少ない フェロモントラップにおける誘 殺数は平年並 11月の気温は高い	- ± +
	オオタバコガ	やや多い	全域	10月下旬の発生量はやや少ない フェロモントラップにおける誘 殺数はやや多い 11月の気温は高い	- + +

・防除対策

〔ハクサイ・べと病〕

収穫前日数に注意して、ランマンフロアブル、ダコニール1000、ストロビーフロアブルなどで防除しましょう。

〔ハクサイ・アブラムシ類〕

アドマイヤーフロアブル、ウララDFなどで防除しましょう。

〔キャベツ・黒腐病〕

カスミンボルドーやキノンドーフロアブルなどで防除しましょう。銅水和剤（無機）を用いる場合、炭酸カルシウム剤（クレフノンなど）を加用し薬害を防止しましょう。

〔ネギ・ネギアザミウマ〕

発生があるほ場では、モスピラン水溶剤、ハチハチ乳剤などで防除しましょう。

〔ナス（施設）・うどんこ病〕

ジーファイン水和剤、トリフミン水和剤、ベルコートフロアブルなどで防除しましょう。

〔ナス（施設）・ミナミキイロアザミウマ〕

ほ場での発生状況に注意し、プレオフロアブル、スタークルノアルバリン顆粒水溶剤などで早めに防除しましょう。

〔キュウリ（施設）・べと病〕

ランマンフロアブル、ホライズンドライフロアブルなどで防除しましょう。発病のおそれが高いと見込まれる場合は、ジマンダイセン水和剤などにより予防散布をしましょう。

## 〔野菜共通・オオタバコガ〕

キャベツでは、フェニックス顆粒水和剤、ファルコンフロアブルなどで防除しましょう。  
トマトでは、アフーム乳剤、プレオフロアブル、エスマルクDFなどで防除しましょう。

## 参考

東海地方 1か月予報（名古屋地方气象台10月28日発表）

### 特に注意を要する事項

前半は、気温が平年よりかなり高くなる見込みです。

### 予想される向こう1か月の天候

東海地方では、天気は数日の周期で変わってでしょう。

週別の気温は、1週目は高い確率80%です。

### 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率

〔気温〕	低い	: 10%	平年並	: 20%	高い	: 70%
〔降水量〕	少ない	: 20%	平年並	: 40%	多い	: 40%
〔日照時間〕	少ない	: 40%	平年並	: 40%	多い	: 20%

### 「農薬使用者のみなさんへ」

飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。

農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。

農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも洗いもれがないようにしましょう。

農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。

農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。

農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。

## E-mail 配信のご案内

予報（病害虫の発生予察情報）、最新情報（病害虫の防除情報等）、注意報、その他情報（いもち情報等随時）等をメール（Word形式）でお届けします。（月2回程度）

ご希望の方は

件名に「E-mail 配信の申し込み」

本文に

氏名、

住所（市町村までで結構です）

職業（例 農薬メーカー、農業）

以上を記入し、病害虫防除グループまでメールでお申し込みください。

病害虫防除グループメールアドレス

[byogaichu@pref.aichi.lg.jp](mailto:byogaichu@pref.aichi.lg.jp)



## あいち病害虫情報

E-mail 配信

2010.9.30

### 発生予察情報

#### ・ [予報第7号（10月）](#)

PDFファイルを使用しています。

#### ・ [吸蜜性カメムシ情報第1号（ダイズ）](#)

PDFファイルを使用しています。

#### ・ [調査データ](#)

トラップ（フェロモン、粘着）及び予察灯への誘殺数のグラフです。  
PDFファイルを使用しています。

[あいち病害虫情報ホームページのトップはこちら。](#)

（リンク先が表示されない場合はCtrlキーをおしながらクリックしてリンク先を表示する）

（連絡先）愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病害虫防除グループ  
電話 0561-62-0085